

井田

井田は現在、水田 6 区画と、大賀ハスやボタンなどの植物を植える 3 区画の計 9 区画で構成されています。これらの田んぼは昔の水田の名残であり、稲の栽培を実用的なものにするため、かつては今より庭園の多くの部分が井田で占められていました。

現在の水田は、中国の周の時代に存在した土地区画整理制度をモデルとして、江戸時代末期につくられたものです。この方式では、正方形の土地を 9 つの区画に分け、8 つの区画を各家庭の稲作用に割り当て、9 つ目の中央の区画は共同で管理します。この方式は、大きな支持を得ていた儒教の教えに基づくものです。後樂園では当初このシステムが小さな規模で取り入れられていましたが、1670 年に池田氏が大々的に取り入れ、現在の岡山県備前市に当たる場所に水田をつくったのです。

岡山後樂園では、1962 年から「お田植え祭」が年に一度開催されています。お田植え祭は 6 月の第 2 日曜日に水田で行われます。お祭りの間、作業員やボランティアの来園者が田植えを手作業で行い、その努力の成果は、その年の後半、例年 10 月に収穫されます。